

宝塚市立末広小学校 いじめ再発防止行動計画

令和6（2024）年4月

基本方針				取組	実 施 時 期														
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中期	長期	
1 子 ど も の S O S に 気 づ く 力 を 高 め る	<u>子どもたちがSOSを出し、やすい環境を作る</u>	小学校での教科担任制を積極的に推進	複数の教職員が子どもの情報を共有し、多角的に対応できる職員組織	より多くの教職員が子どもに関わることができるよう、高学年を中心として教科担任制を積極的に実施します。	検討	教科担任制 実施		実施								検証	拡充	拡充	
		<u>相談することの大切さを子どもたちに伝える出前授業を行うとともに、相談体制を確立</u>	<u>困っていることを相談できる子ども</u>	SC・SSWによる子どもへの相談を行ったりする。		・必要に応じて日程調整												新規	新規
	子どもを深く理解する力を育てる	本事業から学ぶ全員研修を実施	市教育委員会指導主事を招聘し、調査報告書から深く子どもを理解する教職員	市教育委員会指導主事を招聘するなどして、学校調査報告書に基づいた研修会を実施します。					実施									2年目以降は市教委と検討	2年目以降は市教委と検討
		子どもに共感し、対等な関係を築く資質を養う	専門的な視野を持って子どもの特性を理解し、子どもと丁寧に向き合いながら支援する教職員	SCによる年2回以上のカウンセリングマインド研修を実施します。				実施					実施					継続	内容を検証の上で継続
		発達に特性のある子どもへの理解と適切な支援を強化		定期的に、配慮の必要な児童についての情報共有を実施します。	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続	継続
	いじめを早期発見し、迅速で適切な対応を行う	<u>いじめの定義の確認と周知を徹底</u>	<u>いじめの定義を理解し、子ども、保護者、地域に啓発する教職員</u>	全校朝の会や始業式・終業式の際、人を大切に自分を大切にすることについて話をするとともに、育友会常任委員会や学校運営協議会等でも説明します。	始業式	全校朝会	全校朝会 学校運営協議会 育友会常任委員会	終業式 育友会常任委員会	始業式	全校朝会 育友会常任委員会	全校朝会 育友会常任委員会	全校朝会 育友会常任委員会	学校運営協議会 終業式 育友会常任委員会	始業式 育友会常任委員会	全校朝会 学校運営協議会 育友会常任委員会	修業式 育友会常任委員会		継続	継続
		いじめのアンケートと個別面談	いじめの有無や意識を調査し、いじめの未然防止、早期発見解決を図る教職員	1学期は「こころとからだのアンケート」と個別面談、2・3学期は、いじめアンケートと個別面談を実施しに取り組みます。			こころとからだのアンケート				いじめアンケート				いじめアンケート			継続	継続
		<u>教職員らがいじめについての情報を共有し、チームで対応する仕組みを整える</u>	<u>校内いじめ防止委員会を校とし、全教師で情報や学校の対応方針を共有し、取り組む学校</u>	校内いじめ防止委員会で初期対応するチームを設置します。 校内いじめ防止委員会を月1回の定例実施と事業検討として適宜実施します。	チーム設置 校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	継続	継続
		いじめ等に関する情報について保護者との連絡を迅速に行い、情報を共有する	保護者と迅速に連携し未然防止、早期発見、解決に向けた実効性のある取り組みを目指す学校	校内いじめ防止委員会が迅速に事実関係を把握し、対応方針の共通理解を図ります。	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	継続	継続	
	<u>子どもの主体性を重み授業へ転換する</u>	<u>主体的・対話的で深い学びの教育を推進</u>	友達の見意見を大事しながら、主体的に課題解決に取り組む子ども	主体的・対話的で深い学びをふまえた校内授業研究を実施します。特に「聴く」「話す」に着目した授業研究を推進します。日々の学習活動で合意形成を図る話し合いの場の充実を図ります。		理論研修会	学年研究会	学年研修会			全校研究会	学年研究会			学年研究会	学年研究会		継続	継続

基本方針				取組	実 施 時 期																
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	中期	長期			
2 子 ど も の 主 体 性 を 育 て る	子どもが 参画する 学校づく りを行う	学校行事は子ども主 体で行います	集団への一員である ことに対する自覚を 高め、人と人とのふ れあいやつながりを 深める子ども	児童会で学校における諸問題について考 え、行事については児童が主体となって話 し合い、実施します。	1 年生を迎 える会	代表委員会	代表委員会	代表委員会	代表委員会	代表委員会	代表委員会 運動会	代表委員会	代表委員会	代表委員会 図工展	代表委員会	代表委員会 6 年生を送 る会	児童が主体 の企画・実 践・検証を 定着させる	児童が主体 の企画・実 践・検証を 定着させる			
	児童会を 活性化す る	朝会で委員会活動の 発表	学校や地域の課題を 把握し、課題解決に 向けて思考する子ど も	各委員会の活動内容を把握し、意見交換を 行います。	よりよい学校づくりのための活動					創意工夫のある常時活動										拡充	拡充
	子どもへ のエンパ ワメント の促進	C A P の活用と検証	自分の思いを言葉や 態度で表現できる子 ども	3 年生で C A P の授業を行い、自分の心と 体を守る予防教育を実施し、その成果と課 題をつかみます。				授業 検証										継続	継続		
		いじめ防止教育につ ながるゲストティー チャーの授業		人権に関する講師による児童対象の出前授 業を実施します。				ユニバーサル デザイン				エイズ教育						継続	継続		
3 チ ー ム 学 校 で 取 り 組 む	学校の組 織対応力 を向上す る	教師がSOSを出せ る教師集団を作りま す	同僚性を高め、互いに 信頼し合える教職員	学年や専科の枠を超えて相談できる場や チームで対応できる体制の充実を図りま す。										白書			継続	継続			
		多職種連携を推進し ます	互いの専門性を信頼し、 連携できる学校組織	各担当、SC,SSWがそれぞれの専門性を活かし、各 ケースに対応したチーム会議を開催します。	コア会議												継続	継続			
	子どもを 育む地域 や関係機 関との連 携	地域ぐるみで子ども を見守ります	情報を発信し、家庭・ 地域に開かれた学校	学校運営協議会、青少年育成市民会議等で、学校の様子を 説明し、地域で子どもを育むことの協力を求めます。 保護者や地域を対象にSC・SSWの座談会を開催したり、人 権講演会を実施したりします。			学校運営協 議会			人権参観・ 懇談会			学校運営協 議会	学校運営協 議会				継続	継続		
		保育所・幼稚園・小 中学校の連携を強化 します	中学校区における日 指す子ども像の実現 に向けた教育の連携 を推進する保幼小中 連携会議	中学校区の子どもの実態等の情報交換を行 い、いじめに対する学校の指導体制・指導 内容の充実を図ります。				連携会議	共有							引継会	継続	継続			
		関係機関との連携を 図ります	関係機関と情報を共有 し、迅速に対応できる 学校組織	学校の各ケースについて、常に家庭児童相談室、青 少年センター等と組織的に連携を図ります。	連携												継続	継続			
	4 メン ト 期 子 を 及 び 根 拠 ハ に す ラ 対 ス サ	体罰を根 絶する	体罰の禁止を徹底し ます	子ども一人ひとりの人 権を守ることに徹する 教職員	職員研修			カウンセリ ングマイン ド研修	カウンセリ ングマイン ド研修									継続	継続		
あらゆる ハラスメ ントを根 絶する		あらゆるハラスメン トを根絶します	職員研修				職員研修	講師を招い た職員研修				職員研修					継続	継続			

※3つめの柱である「部活動を改革します」については、中学校での取組となりますので、割愛しています。